

市立長浜病院は今年で80周年!

市立長浜病院 地域医療連携だより

令和6年4月1日号

No.229

理念
地域住民の健康を守るため、
「人中心の医療」を発展させ、
地域完結型の医療を推進します。

市立長浜病院
地域医療連携室

〒526-8580 長浜市大成亥町 313 番地
TEL : 0749-65-2720
FAX : 0749-65-2730
http://www.nagahama-hp.jp/



救急告示病院
日本医療機能評価機構認定病院
地域がん診療連携拠点病院
厚生労働省臨床研修指定病院
周産期協力病院
地域医療支援病院

謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は当院の運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。4月の外来診察担当医師表を別添資料でお届けいたしますので、ご査収ください。 敬白

創立80周年にあたり

院長 高折 恭一



市立長浜病院は令和6年6月に創立80周年を迎えます。本院のルーツは、明治19年4月に設置された県立大津病院長浜出張所と考えられますが、県立長浜避病院、長浜町立病院を経て、現在のように市立病院として設立されたのは昭和19年6月となります。平成22年4月からは、地方公営企業法全部適用となり、長浜市病院事業が運営を担っています。皆さまには、昭和の時代から市立長浜病院の運営にご協力を賜り、職員一同、心から感謝しております。

当院は、平成30年3月に地域医療支援病院として承認され、湖北圏域の医療・介護機関の皆さまと共に地域医療を支えるため、お互いに連携を強化してまいりました。今後も、地域の基幹病院としての役割をしっかりと果たして行きたいと存じますので、引き続きご支援をいただければ幸いです。

また当院は、平成17年1月に「地域がん診療連携拠点病院」に指定されており、日々進化を続けるがん治療に対応し、地域完結型の高度医療を提供するために努力してまいりました。令和5年3月には、市立長浜病院中央検査室・病理診断科においてISO15189の認定を得て、同年11月からは、滋賀県北部で初めての「がんゲノム医療連携病院」に指定され、地域の皆様に最新のがんゲノム医療を提供できる体制を整えました。がんゲノム医療は、がん組織や血液中の遺伝子を調べ、一人一人の体質や病状に合わせてがん治療を行うもので、これまでの抗がん剤では治療の難しかった腫瘍であっても、ターゲットとなる特定の遺伝子変異を伴っている場合には、分子標的治療剤等が画期的な効果を発揮することがあります。また、京都大学の本庶佑先生がノーベル賞を受賞されて有名になった免疫チェックポイント阻害剤は、これからのがん治療の要の一つとなっており、当院でも、呼吸器内科、呼吸器外科、外科、消化器内科、耳鼻咽喉科、泌尿器科などにおいて、最先端のがん治療を実施しています。

日本では、がん（悪性新生物）について死亡者の多い心疾患や脳疾患にも注力しており、循環器内科は虚血性心疾患・末梢動脈疾患・不整脈に対するカテーテル治療を年間約900例実施しており、近畿地方でも有数のハイボリュームセンターとなっています。平成25年8月に県内で初めて設置したSCU（脳卒中集中治療室）においては、24時間体制で専門医による集中治療を実施しています。

外科系領域では、チーム医療を推進するため、ERAS（Enhanced Recovery After Surgery）と呼ばれる手術後早期回復プログラムを取り入れています。令和6年3月に、スウェーデンに本部のあるERAS® Societyから、日本では初めてとなる公認病院に認定されています。これにより、手術前後の患者さんのストレスを軽減し、より早く日常生活に戻っていただけることが期待されます。

市民の健康を守る市立病院として次世代型の予防医療を推進するため、平成31年4月にはヘルスケア研究センターを設置しています。令和5年1月からは、長浜市と京都大学が連携して1万人のコホートデータを蓄積している「ながはま0次コホート事業」の健診業務を受託しており、異常所見を認めた場合には、地域の診療所・クリニックの先生方に受診者をご紹介できる体制を整えています。

これからも、市立長浜病院の優れた特徴を活かして、地域連携を一層推進し、皆さまのお役に立てるように尽力していく所存です。今後とも、ご指導のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

医師の異動（4月）

■着任（令和6年4月1日付）

呼吸器外科部長	むらかみ ひろあき 村上 裕亮
外科副医長	かわの かずま 河野 和馬
整形外科副医長	みやはら しゅんいち 宮原 峻一
循環器内科副医長	こじま かつみ 小嶋 克
腎臓代謝内科	むらた わたる 村田 航
麻酔科	てらむら みさき 寺村 美咲
循環器内科	なかだ けいや 中田 啓哉
放射線科（診断部門）	さわだ かつや 澤田 克也
眼科	こやま かい 小山 魁太

よろしくお申しあげます。

消化器内科	よしだ とつきこ 吉田 翔希子
臨床研修医	おくむら なおき 奥村 直樹
臨床研修医	ほしの しょうたろう 星野 彰太郎
臨床研修医	よねざわ せいご 米澤 聖期
臨床研修医	ともい かおり 友井 佳織
臨床研修医	さくらい しりゅう 櫻井 子竜
臨床研修医	かねひさ いつき 兼久 樹
臨床研修医	きたの れいな 北野 玲奈

■退職（令和6年3月31日付）

消化器内科責任部長	高橋 憲一郎
循環器内科部長	児玉 浩志
外科部長	林 雪
循環器内科部長	東谷 典史
腎臓代謝内科副医長	丹波 佑斗
放射線科（診断部門）副医長	石本 聡史
腎臓代謝内科	中山 秀樹
消化器内科	斉藤 聖弘
整形外科	村上 光正

お世話になりました。

麻酔科	小石 悠介
眼科	堤 啓志郎
循環器内科	神山 創路
脳神経外科嘱託医	大塚 亮太郎
臨床研修医	市原 豪
臨床研修医	初村 拓毅
臨床研修医	深野 毅雄
臨床研修医	山崎 一輝
臨床研修医	渡邊 重之

世界腎臓デー市民公開講座を開催しました

世界腎臓デーは、腎臓病の早期発見と治療の重要性を啓発する国際的な取り組みとして、2006年より毎年3月の第2木曜日を中心に実施されています。

当院でもその趣旨に賛同し、開催時期に合わせて3月10日（日）に滋賀医科大学医学部附属病院との共催で、市民公開講座を開催しました。

5年ぶりの開催となった今年は200人余りの参加者があり過去最高の参加者となりました。今回は「慢性腎臓病 あなたは大丈夫？～健診

で見つけよう腎臓病～」をテーマに4人の講師の先生からご講演いただきました。また、長浜市健康推進課と米原市健康づくり課の協力で血圧測定コーナーを設けて、普段血圧を測る機会のない方にもご自身の血圧を知るいい機会になりました。今年で5回目の開催となりましたが、約70%が初めての参加の方で、多くの方が期待以上の講演会であったとのことでした。毎回多くの方に参加していただき、市民の皆さんの関心の高さを感じました。



■ 編集後記 ■

新年度を迎え気持ちを新たにされている方も多いと思いますが、今年、創立80周年を迎える当院は、気持ちも新たに様々な記念事業を予定しています。皆様のご参加をお待ちしております。

